

議会の動きをみなさまにお伝えします

# 加西市議会だより



行政・議会活動報告会

リニューアルした市民会館文化ホールにて開催

## 議会改革・議会活性化の歩み (P14~15)

- 質疑・一般質問 (P2~7)
- 12月定例会の議案審議 (P7~9)
- 議会報告「市民との意見交換会」(P12~13)

# 2

2018  
NO. 154

## 12月定例会

# 質疑・一般質問

12月11日、12日の本会議では、質疑3名、一般質問9名の議員が議案や市政全般にわたり活発な質問を行いました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム(2月下旬掲載予定)にてご覧いただけます。



## 議案第65号 財産の取得について

### 質疑



森元 清蔵 議員  
(21 政会)

**問** (仮称)市道鶉野飛行場線道路改良事業用地についてお尋ねします。

この道路は、まずは市道で整備をして、あと国道372号に格上げするという計画のものです。この372号線の加西市における形状についてどのように計画されているか。

**答** 県庁の道路街路課、加東土木事務所の担当者も交えて、

この一連のルートを選定や道路幅員の計画について協議を行ってきました。そして、道路幅員は片側3.25メートルの2車線、さらに3.5メートルの自転車歩行者道を片側に設け道路幅員は11.5メートルということで決定しています。

**問** 散策用歩道事業用地についてお尋ねします。

この散策用歩道は道路の歩道としてではなくて、散策道として考えられているが、散策用歩道の全体計画は。

**答** 今回、散策用歩道用地の取得範囲は、鶉野飛行場跡地の西側に並行した710メートルの区間についてですが、鶉野飛行場跡地の西側に並行し、延長1.2キロ、幅員として3.5メートルを計画していません。

散策用歩道の全体計画は、法華口駅を起点とし、現在整備している防空壕や機銃座、爆弾庫といった戦争遺産を見学しながら飛行場まで来ていただき、延長1.2キロの飛行場跡地を眺めながら、さらには防災備蓄倉庫や整備構想の鶉野ミュージアムを結ぶという計画をしています。

**問** 鶉野飛行場跡のこの散策用歩道を楽しみながら歩けるようにする工夫は。

**答** この飛行場周辺では、スマートフォンを飛行場にかざすと、紫電改が飛行場上空を飛ぶ画像が見られるというようなアプリの開発に取り組んでいます。

ハード面だけではなく、ソフト面も含めて工夫しながら、整備を進めていきたいと考えています。

# 市内高校の活性化について

## 一般質問



中右 憲利 議員  
(21 政会)

### (播磨農業高校)

**問** 加西市と播磨農高のコラボ事業「はりまのちっちゃな台所」、その概要について。

**答** 北条旧市街地の空き店舗を利用したプロジェクトで、今後経営者を選定し、播磨農高生等と月1回ワークショップを開き、店舗の内装、外装、メニュー等と一緒に考える予定です。また、播磨農高の野菜、ジャム等の加工品の取り扱いも考えています。

**問** 経営者、播磨農高、加西市、地域のメリットは。

**答** 経営者は、出店費用の軽減と播磨農高ブランドの活用。播磨農高は、販売窓口の常設化、播磨農高ブランドの広報の場及び生徒の実習の場の確保。加西市、地域には地元高校のPR、観光情報発信の拠点、旧市街地活性化の呼び水としての効果等です。

### (北条高校)

**問** アフタースクールゼミについて。

**答** 平成30年度から3年間は、受験コースは引き続き河合塾に、基礎コースは兵教大の学生にお願いします。アフタースクールゼミ事業は、北条高校支援の柱として今後も継続していく必要があると考えています。

**問** 国際交流事業について。

**答** 平成27年からオーストラリアのスワン・クリスチャン・カレッジと交流しています。今年度から、よりハイレベルな英語力の習得を目指し、少人数参加による短期留学的な国際交流事業を新たに実施しています。

**問** 人間創造コースについて。

**答** このコースには多様な学習機会が設けられています。

①英語のコミュニケーション能力を高める取り組み。②個別指導など教科力を高める取り組み。③大学見学など学ぶ意欲を高める取り組み。④主体的な課題解決力を高める取り組み。1年生で学びの基礎を身に付け、2年生で様々な学びを体験し、3年生で学びを進路実現につなげるカリキュラムが組まれています。

# 教育問題等について

## 一般質問



織部 徹 議員  
(21 政会)

**問** 平成9年に中学生による須磨連続殺傷事件があり、県教委は、翌年から中学2年生を対象に1週間の体験学習としてトライやる・ウィークを実施しました。本来は職場体験ではなく、心の教育の事業です。中学2年生は毎年変わるので、新鮮だと思うが、受け入れる事業者や施設としては、現場の負担が大きく、維持が難しく、原点が忘れられ、イベント化しているという声もあるようです。周りの人たちも新鮮さが薄れ

てきて、声かけなども少なくなってきたように思われますが、県としてはリニューアルした事業は考えられていないのかお聞きします。

**答** トライやる・ウィークは、20年を迎え、子供たちの社会的、職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育むキャリア教育としても評価されています。しかし、マンネリ化が懸念されないわけではありません。今後とも県の方針に従って、心の教育として再確認し、事業を充実していきたいと考えています。

**問** 大教大附属池田小学校内で児童が8人殺害されるという事件などがあり、加西市教委は平成14年に「ワッシュョイスクール」という事業を計画し、平成15年7月17日に北条東小学校を

皮切りに、15年度中に全小学校で実施されました。実施以来15年がたち、ワッシュョイスクールの参加人数が減り、運営が難しい学校が出てきていないのかお聞きします。

**答** ワッシュョイスクールについては、11校で登録人数は6人から78人と随分差がありますが、各校独自の取り組みの中で活動いただいております。人数はあまり問題視していません。ただ、協力員の高齢化等に伴い、入れかえも必要となっており、負担軽減や活動について年度末等を中心に運営会議をしていただき、続けてやっていただいております。

### ■その他の質問項目

・旧天下溝の水害対策について

# 加西市公共施設の利用状況について

## 一般質問



松尾 幸宏 議員  
(自民の風・誠真会)

### ～なぜ古法華キャンプ場の 利用料金は無料なのか～

**問** 市内公共施設の内、アクセスかさい、古法華自然公園キャンプ場、オークタウン加西の年間利用者数（市内利用者・市外利用者）と年間利用収入・経費についてお尋ねしたい。

**答** アクセスかさいは、市内7,391人、市外340人、合計で7,731人。  
古法華自然公園のキャンプ場は、市内1,166人、市外1万732人、合計で1万1,898人。  
オークタウン加西は、市内2万

2,140人、市外3,968人、合計で2万6,108人です。  
アクセスかさいの収入は20万9,400円。管理経費は310万2,070円。

古法華自然公園キャンプ場は利用料金設定がないので収入はゼロ。管理経費は指定管理料706万2,000円と28年度バーベキューサイトの整備費約300万円です。  
オークタウン加西の収入は80万7,000円で、管理経費は987万3,624円です。

**問** どの施設でも受益者負担があつて当然と考える。  
以前無料だったアクセスかさいでは料金設定を行つてから、市内の利用者が予約しやすくなつたり、グランド状況が改善されたりと好影響が出ている。  
なぜ古法華自然公園キャンプ場については、利用料が無料なのか。

**答** 古法華自然公園は、賀茂・下里地区にまたがる11町の自治会や森林組合から無償でお借りしている。  
加西への交流人口の拡大を目的

に、観光振興に寄与する施設として位置づけられているので、古法華自然公園の利用については無料で運営を行っております。

**問** ハイキングを楽しむ方から料金を徴収するべきと言っているのではない。  
キャンプ・バーベキューでは利用申請をすることになっているため、徴収も難しくないと考える。  
また年間利用者約1万2,000人の内、市内利用者がわずか1割では、市民感情としてバーベキューサイト整備費300万円についても納得いかない。  
ぜひ、指定管理者・地権者・利用者・市民が納得のいく、料金または協力費を設定してほしい。

**答** 受益者負担の原則も踏まえ、収入で整備費用が賅えるといった方法があれば検討ができないかと考えます。今後慎重に検討したい。

### ■その他の質問項目

・市内観光案内看板について

# 鶉野飛行場周辺整備事業について

## 一般質問



黒田 秀一 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 鶉野ミュージアムの規模について。

**答** 滑走路に沿って建つ格納庫をイメージに基本計画を取りまとめられています。施設内外の一体利用や、さまざまな展示やイベントに対応し、展示と収集保存を重視しながら、必要諸室をコンパクトにまとめ、鉄骨造、延べ面積を1,500平方メートル程度として考えています。

**問** 地方創生推進交付金の採択の状況について。

**答** 昨年度、大分県宇佐市と連携し、5カ年事業の先駆型タイプとして申請をしましたが、3カ年の事業として採択を受けました。現在これに基づき基本設計を行っていますが、鶉野ミュージアム事業は、建設事業費が大きく、先駆型タイプの採択が必要であると考えます。改めて事業採択に向け、新たな連携の枠組みも検討し、また内閣府へも相談しながら申請を行う準備をしています。

**問** 掩体壕と機銃座には、現在も見学者が多く、さらに増加すると見込まれる。事故等防止のための安全管理について。

**答** この施設は、道路から少し入る個人の敷地に保存されており、駐車場やアクセス通路は整備されていない現状にあります。ただ、この施設を訪れる方が、今後ふえることが考えられるため、

整備に努めたいと考えます。

**問** ふるさと納税の活用メニューに加えられたが現在の状況について。

**答** 平成29年4月より、ふるさと納税活用メニューとして「鶉野飛行場跡地等の歴史遺産の保存活用に関する事業」を加えました。12月当初で82件、約350万円の寄附が寄せられています。

**問** 散策路の排水管工事について。

**答** 法華口駅から飛行場跡地への散策ルートのおぼ中間地点に整備するトイレの放流については、市道笠原13号線の路肩部に下水管を埋設し、公共下水本管へ約400メートルの工事を先行し接続します。横断管を既に埋設しており、今回の工事で散策用の舗装を取り壊すことはありません。

# 今後の病院経営について問う

## 一般質問



深田 真史 議員  
(市民連合)

**問** 28年度末、病院に3億円を追加支援するかわりに、病院の自助努力が必要と申し上げた。地域包括ケア病棟の看護配置は13対1であるが、看護師を261名も抱える必要があるか。

**答** 今後、病床形態を変える場合、余剰が発生しますので、行政と協議し適正な職員数を確保したいと思います。

**問** 民間企業なら、業績が悪化し不良債務が出ているのに給料はそのままというのは明らかにおかしい。業績を職員給与に

反映させることが基本だと考えるが、いかがか。

**答** 給与では公務員と同じ制度を取り入れており、基本給は非常に触りにくいのですが、手当・インセンティブ等で差をつけることも重要だと思うので、職員がより働く意欲が出る給与体系にできるだけ近づけたいと思います。

**意見** 内部の意識改革が必要ではないか。そうでなければ本質的な解決にならない。

**問** 経営形態には地方独立行政法人、指定管理者、民間譲渡という方法もある。職員の任免や組織、予算、運営の権限は、これまで以上に主体的かつ自律的に経営できる。その見直しは。

**答** 兵庫県下26公立病院中、半分は市直営ですので、一度

に経営形態を変えるのではなく、医療需要を見込みながら、2025年までにゆっくり変換し、市民に不安を与えない経営を心掛けていきます。

**問** 28年度決算と同様、資金不足が起こった場合どうするか。

**答** (総務部長) 市の財政は潤沢ではないため、継続しての補填は難しいと思っています。経営が安定するように、改善していただけたらと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・土地利用と開発(加西インター周辺整備等)について問う
- ・少子化とこれからの加西市の教育について問う
- ・地区の英霊碑や忠魂碑について問う

# 市職員の人材確保について

## 一般質問



土本 昌幸 議員  
(公明党)

**問** 厚生労働省が発表した10月の有効求人倍率は前月比0.03ポイント上昇の1.55倍で、1974年1月以来43年ぶりの高水準とありました。景気の緩やかな回復を背景に、製造業を中心に幅広い産業で求人がふえたことが寄与したものとのこと。そこで採用状況についてお聞きします。

**答** 平成30年4月採用予定の正規職員の事務職については、7名の募集に対し49名の応募があり、おおむね例年並みの状

況でした。また、臨時職員の募集では、4月1日の採用や欠員等に伴う年度途中の募集を含めて、一定の応募がありました。

**問** 臨時職員から嘱託職員になる場合、また嘱託職員から正規職員になる場合はどのような試験があるのかお聞きします。

**答** 臨時職員の希望者に対しては面接等の選考試験で嘱託職員に登用する制度があります。正規職員になる場合は、通常の正規職員の試験を受けていただきます。

**問** 雇用条件改正の必要性があるのではないかと考えます。小野市では、高齢者層を含めた多様な人材を安定して確保できるよう、定数外職員の定年を70歳に引き上げるとのことです。定年延

長の検討も含めて、市職員の人材確保等についてお伺いします。

**答** (市長) 民間の雇用状況が大変よくなってきており、正規職員だけではなく、非正規の職員についても、確保が難しくなってきていると思っています。そういう意味で定年延長ということも、課題に上げていかなければならない時期にきていると思っています。また、人材については、まず正規職員の能力を高めていく、そして魅力的な加西市で仕事をしたいという環境をつくっていくことが、私の一番の役割だと思っています。引き続き、今必要なことをしっかり行っているという姿を市民の皆さまにお示ししながら、それをつくり上げているのは職員であるということの認識の中で、加西市で働きたいという人をふやしていきたいと思っています。

# 就学前施設について

## 一般質問



井上 芳弘 議員  
(日本共産党)

**問** 就学前施設の大規模化にあたっては小規模保育のよさを生かすと述べられている。加西こども園の統廃合等の中で、しっかりと課題が克服されているのか。

**答** 大規模園化の最大の目的は、低年齢児の受け入れ、保育士・教諭の確保、さらに3歳児からの教育利用といった質を高めることにあり、見えにくい先生方も研修に努めながら切磋琢磨することにより、質が向上していると理解しています。

**問** 低年齢児の保育施設は、生活の場として、本来母親と子供がしっかり向き合う時代であると思う。大規模化の中で生活の場としての役割が果たしているのか。

**答** 配置基準に従って受け入れており、十分な対応をいただいています。小規模のいいところもありますが、全市的な立場で見たときに、保育士1人で子供30人を担当できるのに10人しかいないというのは手厚いようでも、大きな損失になります。当初はなかった待機児童も70人近くあり、そのうち8割がゼロ歳児、1歳児で今後も増加が見込まれます。

**問** 宇仁地区では、具体的に泉こども園が進められる中でも地域に子育て支援の施設は必要との考えから、公的に担えないな

ら地域が主体となった保育や事業者による保育の検討の声もある。地域が真剣に取り組みを具体化した場合、施設活用の可能性はあるのか。

**答** 公共施設最適化事業債の財源措置を受けるため、園舎を除却することが条件になっています。

**意見** 公的に施設を残してほしいというのが第一だが、これが困難なとき、地域の主体的な取り組み支援の立場で検討してほしい。

### ■その他の質問項目

- ・ 公共施設等総合管理計画について
- ・ 国民健康保険の都道府県化と保険料(税)について
- ・ 加西病院の現状について

# 障がい者の就労支援と雇用対策

## 一般質問



丸岡 弘満 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 平成28年4月に、障がいの有無で分け隔てなく、互いの個性を認め合いながら共生社会をつくることを目指した障害者差別解消法も施行されたところでもある。平成30年は、民間企業だけでなく、地方公共団体と教育委員会も法定雇用率が変わるが、市役所内における雇用の義務は守られているのか。

**答** 市長部局は2.3%に対し2.62%、教育委員会は2.2%に対し2.61%、病院は2.3%に対し2.35%であり、雇用率は達成し

ている状況です。ただ、法定雇用率が見直され0.2%引き上げられますと、現状のまま推移した場合、病院については若干下回るため、雇用率達成に向けて準備を進めているところです。

**問** 障害者優先調達推進法に基づいた目標が達成できなかった理由は。

**答** 平成27年度に受注していた清掃作業の業務委託がなくなったことによるものです。今後とも各関係部局に発注依頼を促し、事業所にも受入体制を整えるよう依頼したいと考えています。

**意見** 福祉担当課だけに任せるのではなくて、常に庁内全体で目標意識、アンテナを上げていく必要がある。

**問** 月10回2時間の庁内清掃では、1時間250円で月最大

5,000円しかもらえない。障害者就労訓練事業として、これが本当に適正な金額なのか。市は、訓練としてさまざまな作業を提供することで、利用者一人一人の知識及び能力の向上を目指し、効果的に支援していくと言っているのであれば、賃金や時給を上げていく支援の仕方も必要ではないか。

**答** なかなか次のステップへ進むことが考えられない方については、インセンティブ的な意味合いで単価を考えていくのも一つではないかと思っておりますので、平成30年以降で検討していきます。

### ■その他の質問項目

- ・ 加西市手話言語条例について
- ・ 市役所職員の能力開発と人材育成について
- ・ 公共施設の備品・道路管理について

# 民生・児童委員について

## 一般質問



植田 通孝 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 民生委員の役割とは。

**答** 民生委員法で民生委員は社会奉仕の精神を持ち、常に地域住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行うことで社会福祉の増進に努めるものと規定しています。具体的には、子育てや介護の悩みを抱える方、また障がいのある方、一人暮らしの高齢者などの身近な相談相手、見守り役となって支援が必要な住民と行政や関係機関をつなぐパイプ役としての役割があります。

**問** 民生委員を各町の区長が推薦する意味合いは。

**答** 民生委員は社会奉仕の精神を持ち、常に地域住民の立場に立って相談、援助を行うことから、地域の実情を把握し地域住民にとって信頼できる方が望ましいと言えます。そのために地域の代表であって、地域の実情に精通されている区長様に適任者の推薦をお願いしています。

**問** 民生委員を委嘱または解嘱するのは誰なのか。

**答** 委嘱または解嘱とも県知事の推薦または具申に基づいて、厚生労働大臣が決定します。

**問** どのような人格の持ち主が民生委員に適しているのか。

**答** 社会奉仕の精神に富み、社会福祉活動に理解と熱意があり、また円満な常識、思いやり

の心を持って住民に接することができる方が望ましいと考えます。

**問** 民生委員は、基本的人権を尊重する人で、慈愛の心と寛容の心を持ち合わせた人がふさわしいとも考えるがどうか。

**答** ご指摘のことについても当然お持ちになっている方がふさわしいと考えますし、非常に大事なことであるとも考えます。

**問** 民生委員の代表が目指すべき品格とは。

**答** 先の問いでご指摘のあったことに加え、公平、公正な目で物事を捉えて大局的な視野を持ち活動いただける方であれば代表としてふさわしいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・ 町消防団の装備について

## 委員会審議

総務 建設

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

### 育児休業

議案第 62 号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について **総務**

地方公務員の育児休業等に関する法律（平成 3 年法律第 110 号）の一部改正に伴い、非常勤職員について、その養育する子が 1 歳 6 か月に達する日において育児休業している場合で、継続的な勤務のために特に必要と認められる場合には、当該子が 2 歳に達する日まで育児休業が可能となったことから、所要の改正を行うもの。

**問** 適用範囲について。

**答** 嘱託職員が対象です。



**問** 改正により育児休業期間が最長 2 年になるが、嘱託職員の契約期間は 1 年であることから、休業中であっても契約を更新することになるのか。

**答** 1 年経過後も、継続的に雇用する状況にある場合、休業期間中は雇用関係は継続していませんが、継続的な勤務をできる限り担保する運用をしており、休業が終わると改めて契約を行っています。

## 市税

### 議案第 63 号 加西市税条例等の一部を改正する条例の制定について

総務

地方税法等の一部改正に伴い、改正するもの。

#### 【市民税】

- ・法人市民税法人税割の税率の改正（消費税率 10% 引き上げ時）

#### 【固定資産税・都市計画税】

- ・企業主導型保育事業、家庭的保育事業等の用に供する固定資産及び緑化推進法人が新たに設置する市民緑地の用に供する固定資産にかかる固定資産税及び都市計画税について「わがまち特例」を導入

#### 【軽自動車税】

- ・グリーン化特例の 2 年延長
- ・自動車取得税を廃止し環境性能割を創設（消費税率 10% 引き上げ時）

#### 問

わがまち特例で対象となる資産について、適用されている例はあるのか。



#### 答

今回、待機児童解消を目的としたものを挙げており、ほかに平成 28 年度、太陽光エネルギーの償却資産などについて挙げていますが、適用となっているケースはありません。

#### 問

わがまち特例の対象となる資産の設定について。

#### 答

自治体間で課題となっているものに対し、課税標準に特例を設け、それぞれの課題解決につなげていくというもので、市独自の課題により、わがまち特例を設けることはできません。

#### 問

緑地保全にかかる特例措置について。

#### 答

市民緑地等の設置管理計画の提出があり、市の認定を受け、一定期間、市内において市民緑地の運営を行う団体に対し、適用していきます。

## 鶉野飛行場跡地

### 議案第 65 号 財産の取得について

建設

（仮称）市道鶉野飛行場線道路改良事業用地及び都市再生整備計画散策用歩道事業用地を取得しようとするもの。

#### 問

（仮称）市道鶉野飛行場線と現存する道路が接続する部分の交差点改良の計画について。

#### 答

交差点の設計については、現在、概略設計ができ、詳細設計を行っているところです。飛行場の中央付近で複数の市道が通ることによって複雑な交差点になっているものは、鶉野飛行場線に出る前にまとめたいと考えています。また県道との交差点は右折レーンの設置を考えています。



#### 問

飛行場跡地横の散策道を歩いてみたくなる工夫について。

#### 答

構想にあった桜並木やライトアップは現在の計画にはないが、ほかには残っていない飛行場跡地自体が目玉になると考えています。また、GPS 機能を使ったアプリにより、バーチャルリアリティでの画像や戦争遺産の説明を見ただけのことも考えています。



## こども園

### 議案第 66 号（仮称）北条西こども園建設工事請負変更契約の締結について

建設

（仮称）北条西こども園建設工事について、変更設計による請負金額の変更及び工期の延長をしようとするもの。

#### 問

新たな追加工事とともに既に実施している工事を合わせての 12 月議会への提案について。

#### 答

工事の進行の中で判明したことに対処するための安全対策工事は、概算で算出した金額が少額であったことから、最終的に工事の出来高を精査した増減の中でカバーできると考えていました。その後、検討を重ね整備することにした送迎車両用通路の概算の工事費が高額な金額になり、変更契約の議案として提案することになったことから、実施済みの地盤改良工事や石綿処分工事も追加工事であるため、合わせて提案することにしました。



#### 問

園庭の広さについて。

#### 答

送迎車両用通路の設置で少し園庭の面積が減少することに加え、ゼロ歳児から 5 歳児までの受け入れによって定員が増えますが、人数だけではなく、子どもの行動範囲など、年齢によっても必要な面積が違うことから考えて面積は確保できています。



## 給与改定

議案第 70 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

総務

議案第 71 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算（第 6 号）について

人事院勧告に準じ、特別職及び一般職の給料、手当を改正するもの。

【特別職】 期末手当 0.1 カ月の引き上げ

【一般職】 勤勉手当 0.1 カ月の引き上げ

若年層に重点を置いた給料表水準の引き上げ

【歳出】

・特別職の期末手当の改正に対応するもの  
(89 万円)

・一般職の給与改正に対応するもの  
(1,458 万 5,000 円)



**問** 今回の人事院勧告により、病院職員の給与も引き上げが行われるのか。



**答** 本議案については、直接、病院職員にかかわるものではありません。病院職員の給与については、別途、病院職員の給与規定で定めてあり、改正手続を病院において行い、給料表の改定が行われます。

**問** 人口の減少や、若者の就業意識の変化等を背景に、人材確保が厳しい状況にある中、給与の引き上げについて、どう考えるか。

**答** 労働に対して相応の対価を支払うべきと考えており、その適切な額については、国に準拠して定めるものと地方公務員法で定義されていることから、これに準じて改正を行うこととしました。



**討論【反対】** 今回の条例改正あるいは補正予算が直接、病院職員の給与にかかわらないとしても、結局は病院職員の給与引き上げにつながるものになり、現在、経営状況が悪化し続けているにもかかわらず、給与の引き上げが行われてしまうことは疑問である。

## 意見書案

意見書案第 2 号 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定に基づく補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書（案）

可決（全会一致）

道路は、市民の安全・安心な暮らしや地域経済の活性化を支えるとともに、災害時には市民の命を守るライフラインとして機能するなど、市民生活には欠くことのできない重要な社会資本であり、多くの市民から、その整備に強い期待が寄せられているところである。

本市においては、地方創生や人口減少対策に全力を挙げて取り組むとともに、近隣市と連携を強化し、交流人口の増加や地域経済の持続的な発展を支える道路整備を進めているが、安全で円滑に通行できる地域間幹線道路、生活道路の整備や通学路の安全対策、さらには既存道路インフラの老朽化対策など、緊急性を要する課題が多く残っている。

このような状況において「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」（以下「道路財特法」という。）の規定による補助率等の嵩上げ措置が平成 29 年度で終了し、平成 30 年度から地方負担が増加することになれば、自治体運営にも多大な影響が生じ、地方創生の実現はもとより地域の活力の低下を招くことが危惧される。

については、今後も地域における道路整備を継続的かつ着実に推進するため、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置について、平成 30 年度以降も現行制度を継続されることを強く要望する。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 29 年 12 月 21 日

兵庫県加西市議会

## 討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

議案第 70 号 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について  
議案第 71 号 平成 29 年度加西市一般会計補正予算(第 6 号)について

可決(賛成 11、反対 3)

加西病院の経営改善、耐震化の問題も含めて、非常に緊急を要する状況になっているのではないかと思います。加西病院の総合的医療という基本をしっかり守っていくためにも、財政的な裏づけ、支援をどうしていくかというのは急務である。地方公務員の給与も人事院勧告だけではなく、自治体の財政状況や地域の経済状況等を十分に勘案して決定していくべきだということになっている。その意味で、公営企業法の全部適用といえども、自治体が支援をしていかなければ存続しえない病院の経営状況を勘案し検討すべきである。

反対



井上芳弘 議員

今回の条例改正により給与をアップすれば、加西病院の職員給与もこれにあわせてアップされることになる。加西病院の経営が悪化し、住民に加西病院が大変であると広く知らされるようになった今こそ、病院職員の人件費や職員数、経営形態についてきちんと見直しを図るなど自助努力が必要なときである。また、加西病院の資金不足が市の一般会計に大きな負担としてのしかかり、最終的に基金を取り崩してしのいだ 28 年度の決算が示すように、まさに加西病院の経営問題は加西市の財政に大きな影響を与える状況になっている。

反対



深田真史 議員



長田謙一 議員

賛成

病院職員の身分も公務員であり、同様に給与水準を引き上げるものである。しかし経営は企業会計である。平成 28 年度一般会計より、平成 29 年 3 月議会において、予算を追加補正し、2 億 5,000 万円の繰り入れを行った。公立病院で黒字経営はなかなか困難であると考え、病院の自助努力は必要と考える。市長、副市長のトップセールスで事務局も含め、病院事業管理者を筆頭に医師、看護師、病院に携わる関係者は加西病院を愛し患者を第一と考え、しっかりと経営改革を推進していただきたい。

## 請 願

請願第 1 号 治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める請願について

(請願趣旨) 治安維持法の制定以降、国民主権を唱え戦争に反対した多くの人々が逮捕、拷問、虐殺など厳しい弾圧を受けた。これら弾圧犠牲者に対し国が謝罪と賠償を行うよう、治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書を国の関係機関へ提出していただきたい。

### 委員会審議

(総務)

問

戦後 72 年の今、この意見書をあげる意義について。

答

(請願者) 諸外国とつき合う上で戦後処理は必要不可欠であり、戦争の遂行に反対する人々を弾圧したことが本当に正しかったのかを検証し、正しくなかったものに対して謝罪し名誉を回復することが、人権を尊重する国として一番大事であると考え。

討論【反対】 治安維持法は当時、私有財産制度や国体を否定する暴力的な革命運動を取り締まるための法律であったと考える。仮に悪法であったとしても当時としては有効な法であり、これを他の法により特別に処理することは困難である。

(本会議での議決結果) 不採択 賛成 3、反対 11

## 第268回 加西市定例会議決結果一覧

平成29年12月1日～12月21日

### ■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
<b>議案第63号</b> 加西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
<b>議案第70号</b> 特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	×	○	○	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛11、反3)
<b>議案第71号</b> 平成29年度加西市一般会計補正予算（第6号）について	×	○	○	○	○	議長	○	×	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛11、反3)
<b>請願第1号</b> 治安維持法犠牲者国家賠償法（仮称）の制定を求める請願について	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	○	×	○	×	○	×	原案不採択 (賛3、反11)
<b>意見書案第3号</b> 憲法改正の早期実現を求める意見書（案）	○	○	×	○	×	議長	○	○	○	×	×	×	×	×	×	原案否決 (賛6、反8)

### ■全会一致で承認、可決した議案

- 報告第4号** 専決処分したのものにつき承認を求めることについて（平成29年度加西市一般会計補正予算（第4号））
- 議案第62号** 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第64号** 加西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第65号** 財産の取得について
- 議案第66号**（仮称）北条西こども園建設工事請負変更契約の締結について
- 議案第67号** 平成29年度加西市一般会計補正予算（第5号）について
- 議案第68号** 平成29年度介護保険特別会計補正予算（第2号）について
- 議案第69号** 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- 意見書案第2号** 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定に基づく補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書（案）

## 議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、平成 29 年 11 月 16 日に播磨農業高等学校、北条高等学校の各 PTA と 17 日には加西市商店連合会と議会報告並びに意見交換会を行いました。意見交換会で述べられたご意見を紹介します。

11/16

### 播磨農業高等学校 PTA ○北条高等学校 PTA

#### 播磨農業高等学校



○実習施設や農機具の老朽化が課題。施設等の更新費用は高額となっており、県費の支援も厳しい。生徒のほとんどが利用する寮の施設も古くなっている。また、農業高校であるにも関わらず進学率が高く、農業関係に就職する学生が少ない。加西市の「ふるさと創造会議」等を利用した農業経営や放棄田対策が出来ないか考えてほしい。

→県教育委員会へ積極的に陳情していくことも大切。新聞報道で播磨農業高校の取り組みが紹介されていたが、6次産業化を考え、レストラン経営や実地で学べる機会があるのであれば、高校の人気も高まると思う。



○保護者の地域的（広域性）なこともあり、要望活動などなかなか困難である。農業高校として県下でも大変評価されており、北条高校と同じ加西市にある高校として議会も関心を持ってほしい。

→高校は県の所管であるが、議会としてもしっかりと県・国への要望活動をしていきたい。また就学前・義務教育の段階から、しっかりと教育に取り組むよう行政に求める。

○奨学金の補助や市の制度が市民に知らされていない。年度ごとの補助申請のタイミングの改善をお願いしたい。少子化対策としても近隣に出ている人たちにも様々な制度を PR してほしい。

→補助申請のタイミングの改善は行政に伝えたい。



#### 播磨農業高等学校・北条高等学校

○播磨農業高校と北条高校への具体的な支援協力について。アフタースクールゼミ事業の方向性について。

→北条高校の活性化協議会への支援としてアフタースクールゼミ事業、通学バス事業、国際交流事業、陳情活動などへの援助。播磨農業高校については「はりまのちっちゃな台所」事業など個々の事業に支援している。ゼミ事業については、平成 30 年から 3 年間は引き続き支援する予定。



#### 北条高等学校

○教育費に対する補助制度について。

→経済的理由により就学困難な生徒に対しての奨学金制度があり、月額 6,000 円支給される。その他、奨学金を返済している加西市への U ターン者や移住者に対して補助制度がある。



○生徒たちに積極性を持ってほしい。一番影響力のある保護者に積極性を持ってもらいたい。小中の連合 PTA 活動を通じて保護者への講演会や教育への支援をしてほしい。

→進路の決定は、本人の意思だけでなく、周囲からの影響も大きい。過去には、北条高校 OB の心臓外科医や建築家の講演、イグノーベル賞の東山先生の講演などがあった。こういう機会をふやすことが大事。



○進学をさせたい親は小野や西脇の高校へ子供を行かす。教育委員会へお願いしたいのは、保護者に北条高校の良さや現状をもっと伝えてほしい。

先生方にも働きかけてほしい。アフタースクールゼミは、後3年は大丈夫と言われたが、これからも継続してほしい。

→現状は3年間ということであるが、議員として後押しして行きたい。人間創造コースも期待されている。

11/17

## 加西市商店連合会



○富良野で開催された「全国商人（あきんど）サミット」に参加し、日南市の活性化事業に刺激を受けた。加西市の活性化策は、

→産業振興課で商工会議所への補助、共通商品券の支援や空き店舗活用、オフィス設置や新規雇用促進などへの補助を行っている。

○北条地区は別にしても、北部地区では少子化で十数年後には若者がいなくなると思う。周辺地区の過疎対策が必要では。

→インターチェンジ周辺で開発が計画されている。また消防署加西北出張所近くに泉地区「認定こども園」が予定されており、働く場や子育て支援の核になっていくことを期待している。

→若者定住促進事業などの予算規模も増加している。北条地区だけでなく地域ごとの住宅用地も検討されている。農業を中心とした就業確保など人口減少をとどめていくことも必要。

○新しく住宅ができる一方で、旧来の集落や住宅地で空き家がふえている。補助金も出しているが家ばかりで人がいない。工業団地の誘致も免除制度

があり、メリットがない。

→賃貸住宅建設の優遇制度については、議会でも反対の声もあった。企業誘致については、一定期間の優遇措置があっても、いずれ固定資産税として市に入ってくる。

○店舗販売から通販やネット販売が主流になり、商店や商店街が疲弊している。まちの魅力は元気の商店街からといわれる。行政からの支援も議会としてお願いしてほしい。



→進出企業への支援策に比べ、地域でがんばってこられた事業者への支援は十分と思えない。議会もしっかり取り組みたい。

○産業振興の会議に参加する機会があったが、一般の人にわかりやすい資料になっていない。加西市はこんな町、こんなプロジェクトといったことや支援策など伝わっていない。若者を育てる空気になっていない。事業者は補助金をあてにしているだけでなく、それ以上によりおおきな還元、貢献を考えている。広域の中での加西を考えたい。



→事業者の皆さんは、同業者と広く接することで情報量も豊富。ぜひ、組織としての要望を具体的に議会にも挙げてほしい。

○加西市としての5年後、10年後のビジョンが必要。チェーン店化が進む中、加西の飲食店には個性がある。補助があるとか安いではなく、お金を出す価値、住む価値、加西しかない魅力をつくりたい。



# 議会改革・議会活性化の歩み

## ～市民に信頼される開かれた議会を目指して～

### ● 加西市議会の概要（1）

定数 15名 (H11年24名→22名、H15年より20名、H19年より18名、H23年より15名)  
報酬 35万円/月 (H13年35万円→37.7万円、H16年より36.9万円、H27年より35万円)  
政務活動費 10万円/年/人 (H13年より)

### ● 加西市議会の概要（2）

定例会 年4回（3月、6月、9月、12月）開催

臨時会 必要に応じて開催

委員会 総務委員会・建設経済厚生委員会・議会運営委員会  
定例会の開催中及び必要に応じて閉会中にも開催

その他 議会だより編集委員会、議員協議会、政策検討会、議会報告会なども適時開催



### ● 議会基本条例の制定

平成22年6月2日に全会一致で可決、制定しました。

(前文) (抄)

加西市議会は、加西市民から選挙で選ばれた加西市議会議員により構成され、加西市長とともに加西市の代表機関として、市民の多様な意見や利益を代表する役割を担っています。

議会は、行政への**監視機能**及び**立法機能**とともに、活発な討議により、**市政の課題を明確**にして、市民に公開する役割を担っています。

(目的)

第1条 この条例は、加西市政と住民自治の進展にふさわしい、議会及び議員の活動の活性化と充実のために、**情報公開**による透明性や公平・公正の確保、政策活動等への多様な**市民参加**、議員間の活発な討議の展開、市長等執行機関との緊張感の保持、議員の資質の向上、議会活動を支える体制の整備等について**議会運営の基本事項**を定めることにより、**住民が主人公**として安心して暮らせるまちづくりの推進をはかることを目的とします。

この議会基本条例に基づき改革・活性化を推進しています。

### 情報公開の取り組み

#### (1) インターネットによる公開

- ・本会議及び委員会のライブ・録画中継（スマートフォン、タブレットでも視聴可能）
- ・政務活動費の収支報告及び領収書、議会交際費の公開
- ・本会議及び委員会の議事録、議会審議資料（議案、請願、意見書など）の公開
- ・議員個人の議案の賛否の公開
- ・行政視察報告書の公開

#### (2) 政務活動費の執行状況の公開（庁舎1階総合案内カウンターで）



## 住民参加の取り組み

- ・ 請願、陳情を市民の政策提言と位置づけ、参加希望の提出者より委員会で説明を受けています。
- ・ 直近では、精神障がい者の医療費助成を求める請願を採択し、施策に反映
- ・ 議会報告として、毎年2回以上、各種団体との意見交換会を開催
- ・ 委員会をはじめ議員協議会等、各種会議の傍聴を原則公開
- ・ 傍聴者への議案等の提供
- ・ 議会から提案する条例のパブリックコメントの実施



## 機能強化の取り組み

- ・ 議会基本条例の制定及び検証、見直し
- ・ 質疑、一般質問で一問一答方式を実施
- ・ 議員間の討議の実施
- ・ 議長、副議長の立候補制（推薦含む）
- ・ 政策検討会の実施による政策条例の制定
- ・ 常任委員会の所管事務調査による政策提言



## 行政監視機能の発揮

- ・ 議案の審議（条例、各種重要な計画、予算、決算など）
- ・ 質疑、一般質問
- ・ 市長に政策等の形成過程の説明資料の添付を求める
- ・ 閉会中の常任委員会による所管事務調査



## 政策立案機能の発揮

### (1) 政策検討会の実施による政策条例の制定

平成28年7月に政策検討会を全議員参加で立ち上げ、「加西市手話言語条例」案を作成し、平成28年9月定例会で議員提案し可決・制定しました。



### (2) 常任委員会の所管事務調査による政策提言

平成28年5月から1年間をかけて、総務委員会と建設経済厚生委員会がそれぞれ政策課題を決め、調査・研究を行い、提言として取りまとめ、平成29年6月に市長に提言書を送付しました。



総務委員会は「人口増施策について」、建設経済厚生委員会は「土地利用と開発について」

## 議会改革ランキング

全国1,347議会中※	43位	(兵庫県内市議会中 3位)
内容別	情報公開	26位
	住民参加	172位
	機能強化	88位

※ 全国の地方議会（都道府県市区町村）1,788議会のうち、調査回答した1,347議会中（早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査ランキング2016より）

# 市議会トピックス

## ■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

3月定例会での取り扱いを希望される場合は、平成30年2月20日(火)17時までにご提出ください。

## ■ 議員研修会を開催しました

平成29年10月30日に「常任委員会の運営方法と所管事務調査の進め方について」をテーマに議員研修会を開催しました。



## ■ 議会中継をスマホでも!

平成29年12月定例会から、スマートフォンやタブレットでも議会中継を、ご覧いただけるようになりました。

ライブや録画(過去の分もOK)で、本会議や委員会の様子をぜひ、ご覧ください。

## ■ 平成30年3月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
2月28日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(提案説明等)
3月2日(金)	15:00	発言通告期限(質疑・一般質問)
3月8日(木)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(質疑・一般質問)
3月12日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(一般質問)
3月13日(火)	10:00	本会議(予備日)
3月14日(水)	9:00	総務委員会(議案審査・予算審査)
3月15日(木)	9:00	建設経済厚生委員会(議案審査・予算審査)
3月16日(金)	13:30	総務委員会(予備日)
3月19日(月)	9:00	建設経済厚生委員会(議案審査・予算審査)
3月26日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議(最終日:委員長報告・採決)

## ■ 常任委員会 行政視察の実施状況

### ○ 建設経済厚生委員会

・山口県光市 平成29年10月25日  
視察項目:農業振興拠点施設「里の厨」の運営について

・農事組合法人ファームおだ(広島県東広島市)  
平成29年10月26日

視察項目:ファームおだにおける6次産業化及び経営の多角化の取り組みについて



### ○ 総務委員会

・福岡県筑前町 平成30年1月30日

視察項目:大刀洗平和記念館の運営状況と記念館を活用した児童等の平和学習について

・福岡県古賀市 平成30年1月31日

視察項目:日本一通いたい・通わせたい学校をめざす取り組みについて

ぜひ傍聴にお越しください!



インターネット  
議会中継  
(ライブ・録画)

加西市議会

検索



発行 加西市議会  
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000  
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810  
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元清蔵  
委員 植田通孝  
委員 三宅利弘

副委員長 井上芳弘  
委員 松尾幸宏  
委員 森田博美